

向井建設BCP（事業継続計画）の立ち上げから震災復旧活動報告

平成19年2月から BCPを実施

- H19.2～ セコムによる携帯安否確認システム構築
- H19.3.17 東京本社 第1回総合震災訓練(BCP)実施



第1回BCP実施



同時にAED訓練、怪我人搬送訓練など実施

- H22.5.29 東京本社 第8回総合震災訓練(BCP)実施
- H22.9.7 東北支店 第4回総合震災訓練(BCP)実施

平成23年3月11日 14:46
三陸沖を震源としてM9.0の大地震発生

- 2011/3/11（金）東京本社 余震の治まりを待ち 15:30 BCP会議を招集（以後毎日開催）
本社関係社員の安否、会社の施設被害、施工現場状況の情報収集に努める。
仙台東北支店に被害状況確認するが、18:20まで通信できず。

東北支店 地震直後 全員外部に避難
15:30 支店7階会議室に災害対策本部を立上げ情報収集体制整備、社員の安否と支店建物の被害状況確認 EV停止、ガス・水道・電気停止、現場被害の情報収集に努める。電話不通 携帯電話も回線混雑のため掛かりにくい状況



発生直後に東京本社BCP会議招集



地震による東北支店9Fの状況



支店では直ちに従業員安否確認



災害対策本部 非常電源で情報収集

16:32 元請来社応援要請

- H23.3.12 (土) 東京本社 支店への災害物資運搬を決定 物品購入手配
 東北支店 緊急対応に当たる250名の社員・作業者のために支店4階5階を炊事・食堂、寝場所設置設営準備
 得意先を訪問し緊急体制の打合せ。被災現場の応援出動
 17:00 社員・職長まで全員無事確認完了
 21:40 水道・電気復旧
- H23.3.13 (日) 東京本社 救援物資を4tユニック・マイクロバスに積み早朝4時出発
 東北支店 仙台駅など被災建物の毀損物の撤去・復旧継続
 本社より支援物資 12:40到着
 ガソリン・軽油不足顕著 本社へ食料・燃料支援要請



本社救援物資第1陣積み込み



東北支店 救援物資受け取り

- H23.3.14 (月) 東北支店 電話・FAX開通
 支店内炊き出し食料東北各地で購入・手配



炊き出し対応 女子社員



近隣へ携帯電話充電提供

- H23.3.15 (火) 東京本社 8:00 第2便救援物資隊出発
 東北支店 災害復旧各現場へ社員・作業員派遣
 元請各社、協力会社よりガソリン・食料の支援 (以後数日間)
 15:00本社より支援物資到着



第2陣物資積み込み



4tユニック マイクロバス 6名出発

- H23.3.16 (水) 東北支店 災害復旧各現場へ社員・作業員派遣

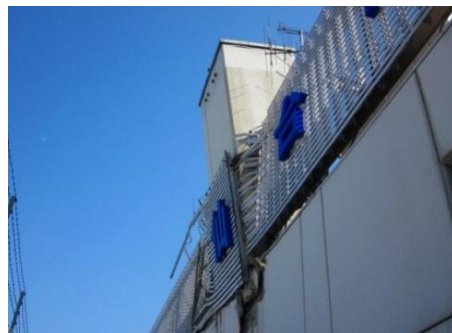
- H23.3.17 (木) 東京本社 8:00 第3便救援物資隊出発
 東北支店 被災建物の毀損物の撤去・復旧継続
 新幹線橋脚の被害が大きく、東北支店としても長期的対応
 14:00 本社より支援物資到着



仙台駅被災状況



新幹線橋脚復旧工事



仙台市内病院の煙突傾き



市内駐車場ビル被害 塔屋傾き

- H23.3.18 (金) 東京本社 8:00 第4便救援物資隊出発
 東北支店 軽油・ガソリン多方面から支援頂く
 13:00 本社より支援物資到着、石巻被災 支援要請
- H23.3.19 (土) 東北支店 緊急車両を対象に、給油を再開
 13:00社長 東北支店に到着・支店長と今後の対応検討
- H23.3.20 (日) 東北支店 日曜日のため、緊急性のある現場のみ対応する方針を決める
 復旧支援作業員250名稼働体制
- H23.3.21 (月) 東北支店 社長、東北支店の災害対策本部で社員に今後の対応について指示
 復旧支援作業員380名稼働体制
- H23.3.22 (火) 東北支店 7:30 社長東北支店の朝礼で社員を激励



社長激励



元請からの復旧要請 対策本部壁面に一杯

ボランティア活動として、石巻市と協議 中央公民館での炊きだしを決定
 復旧支援作業員380名稼働体制

- H23.3.23 (水) 東北支店 青葉山寮跡地に緊急対応プレハブ宿舍設置を検討
 ADビル空地进行リース資材置き場として使用検討
 復旧支援作業員526名稼働体制

- H23.3.24 (木) 東京本社 早朝向井会長炊き出し物品を携行して東北支店に出発 第5便
 東北支店 8:00会長 仙台着、元請を訪問 緊急施工中現場を視察
 会長 宮城県庁舎へ義援金を届ける
 以後、向井建設・社員・協力会社・関係会社からの募金を岩手・福島・千葉・茨城及び日本赤十字社に贈呈
 10:00 石巻炊きだし支援隊出発式
 業界三紙、ラジオ局の東北放送など、マスコミが報道
 13:00～石巻中央公民館での炊き出し開始(170食)東北放送が炊き出しを放送し、近隣からも集まる
 青葉山宿舎建築までの間まで、支店内の4Fを仮宿舎にするため、2段ベッド25台を購入決定
 復旧支援作業員604名稼働体制



会長 仙台駅復旧工事を視察



会長 災害対策本部で社員を激励



石巻炊き出し支援隊出発



石巻中央公民館での温かい食物提供、新鮮な果物と野菜喜ばれる

- H23.3.25 (金) 東京本社 BCP会議 連日実施を休止
 東北支店 集中回線にしていた7F対策本部の緊急電話を通常回線に戻す
 復旧支援作業員635名稼働体制
- H23.3.26 (土) 東北支店 2段ベッド25台 搬入 支店4階に設置 50名宿泊
 復旧支援作業員616名稼働体制
- H23.3.27 (日) 東北支店 日曜日のため、稼働は50%、社員も近隣の銭湯で疲れを癒す
 復旧支援作業員321名稼働体制
- H23.3.28 (月) 東京本社 2段ベット用フトン50組発送
 東北支店 近隣の食堂やスーパーの中には、開店する店舗がみられる
- H23.3.29 (火) 東北支店 本社より到着 2段ベッド用の布団を搬入 セット
 復旧支援作業員699名稼働体制
- H23.3.30 (水) 東北支店 復旧以外の現場が動き始める。
 徐々に落ち着きを取り戻しつつある。
 復旧支援作業員702名稼働体制

- H23.3.31 (木) 東北支店 緊急車両は高速道路無料
復旧支援作業員728名稼働体制
ガソリンはいまだ不足気味 高速道路限定給油可能 一般ガソリンスタンド長蛇の列



石巻炊き出し支援隊最終日



石巻炊き出し支援8日目お別れ会
感謝のレイを頂く

- H23.4.1 (金) 東北支店 毎週金曜日の朝に実施していた幹部会を再開
7Fの災害対策本部を締める
今後のBCPマニュアルに展開するため、今回の震災にあたり活動内容の問題点・改善策の検証を進める。
復旧支援作業員795名稼働体制

通常業務に復するため震災経過報告終了